

南部

老人福祉
ふれあいタウン

シルバーエリア



ハーモニー

高い声、低い声、太い声、細い声、それぞれ特徴の違う声があざない、調和し、歌声となつて会場に広がり、澄みきった秋の空に昇って行く。歌い終え、胸いっぱい空気を吸った時、すがすがしさが体中に染み渡る。

写真は、十月に行われた「エリア秋の祭典'94」のコーラスの発表会の一コマです。

秋の祭典では、その他太極拳、華道、民芸など「活き活き学園」各教室の一年間の活動成果が発表されました。



第 11 号

秋田県社会福祉事業団
秋田県南部老人福祉総合エリア

エリア秋の祭典'94

華やかに開催される

十月十九日から二十二日までの四日間、「いいねえ・やるね・感激祭」のキャッチフレーズのもと、「エリア秋の祭典'94」が盛大に開催されました。

祭り開催中は好天にも恵まれ、参加者及び見学者数が二千七百名を超えました。特に



開会式終了後のなつメロと踊りの会には沢山の人が参加し、会場内は笑いや拍手に包まれ、祭りムードを一層盛り上げました。

コミュニケーションターでは、生きがい祭りが行われ、生け花、陶芸、民芸等の力作が並び、大森町園芸クラブの協力による盆栽展とともに見学者の目を楽しませてくれました。

また、健康まつりとして行われたゲートボール大会とバターゴルフ大会では、入居者及び地域の方々が多数参加しました。日頃の練習の成果が十分あらわれ、ファイナルプレーが続出し、さわやかな日差しの下、スポーツの秋を満喫



また、健康まつりとして行われたゲートボール大会とバターゴルフ大会では、入居者及び地域の方々が多数参加しました。日頃の練習の成果が十分あらわれ、ファイナルプレーが続出し、さわやかな日差しの下、スポーツの秋を満喫

しました。

二十二日の閉会式では、各部門の入賞者に、表彰状と記念品が贈られました。

閉会式終了後、巧みな話術

で知られる、秋田弁の劇作家伊藤武三氏による郷愁をさそう「ハーモニカの音色に会場からは大きな拍手が送られました。

エリアではこの四日間、美しい汗と、笑顔一杯のドラマが展開されました。

エリア秋の祭典'94

表彰者 (敬称略)

活き活き学園長賞

佐々木 ちよ (陶芸)
白寿園創作クラブ (刺し子)

活き活き学園
推進委員長賞

石川 たい (書道)
遠藤 末吉 (華道)

活き活き学園奨励賞

吉川 初枝 (書道)
石川 桂子 (木工)
阿部 美子 (木工)
小原 子 (木工)
佐々木 子 (陶芸)
町本 淳子 (陶芸)
北條 淳子 (陶芸)
黒田 子 (民芸)



赤川 末吉 (民芸)

遠藤 末吉 (華道)

伊藤 原 (民芸)
藤原 基 (民芸)
佐佐木 基 (民芸)
藤井 基 (民芸)
白寿園創作クラブ (刺し子)

活き活き学園努力賞

大川 比 (書道)
鶴谷 安藏 (陶芸)
佐々木 基 (民芸)
本多 基 (華道)
三浦 基 (刺し子)

活き活き学園シルバー賞

池田 孝次 (木工)
鈴木 孝次 (木工)
伊藤 孝次 (木工)
伊藤 孝次 (木工)
亀谷 孝次 (民芸)
佐々木 孝次 (民芸)
守屋 孝次 (民芸)
柿崎 孝次 (民芸)

ゲートボール大会

優勝 シルバーケアチーム
準優勝 マンションチーム
三位 養護老人ホームチーム
敢闘賞 軽費老人ホームチーム

バターゴルフ大会

優勝 軽費老人ホームBチーム
準優勝 マンションAチーム
三位 養護老人ホームAチーム
敢闘賞 シルバーケアCチーム

個人
優勝 柴田 恒輔
準優勝 大野 隆次
三位 井川 富美夫

福祉入門セミナー

皆さん、参加してみませんか!!

本格的な高齢化社会を迎え福祉や介護、ボランティアに関する知識がますます求められてきていますが、エリアでは、福祉や介護の基礎知識を身につけ、家庭や地域等で生かしてもらおうと、今年度から、中・高校生、教育関係者、一般企業、各種団体等を対象に「福祉入門セミナー」を開催しています。



～手話の講習～ 高校生のみなさん

これまで受講したのは、地域の高校生と、東北電力大曲営業所の皆さん計七十一名で、高校生の方々は第二土曜日や夏休みに、東北電力の方々は平日に受講しました。

セミナーは、「一日コース」と「二日コース」を選択でき、「老人福祉の動向」から「老人の心とからだ」などの講義や、「手話」や「介護技法」などの実技まで、幅広く行われました。

次に受講生の感想の一部を紹介します。

「実際にシャンプースの側から、される側になって、はじめて介護される方の気持ちがわかった」

「これを機会に、福祉や看護関係の仕事に携わって、体の不自由な人の手助けをしたい」

「このようなセミナー

を、より多くの人に受講してもらい、社会全体が老人を考える時代になって欲しい」

「自分の将来について考える機会となった」

「今日のことを話題に、おじいさん、おばあさんに優しく接する家庭にしたい」

「寝たきりの父がいるので、床ずれの対策など、もっと介護技術を勉強したい」

以上、さまざまな感想をいただきましたが、大なり小なりこの「セミナー」が参加者にとってプラスになったようです。

まだ、受講されていない方はお気軽にお申し込みを、



～介護実習～ 東北電力大曲営業所のみなさん

NHKのど自慢大会で「特別賞」!

日曜日のNHKテレビ番組と言えど馴染みの「のど自慢」が、十一月六日大曲市民会館を会場に行われ、エリア軽費老人ホームに入居されている矢野カツさん（68歳）が初出場しました。

二十名の出演に対し、申し込み数五百名で、予選出場が二百五十名と競争率の高い中を選ばれ、手描き染めの手作り衣装で「大物」という曲を力一杯熱唱されましたが、惜しくも鐘二つ。

しかしながら、明るく元気に

いっぱい歌ったことが好評で、見事「特別賞」を受賞されました。

幼少の頃より「歌と人生を共にしてきた」と語る矢野さんにとって、記念に残る一日であったことでしょう。

「今まで何気なく番組を楽しんで見てきたが、その陰にはバンドマンはじめスタッフの大変な努力で番組が成り立っていることが、特に印象に残った」とのことでした。

今後も益々お元気で歌と共に長い人生を歩んでください。



熱唱する矢野さん

軽費老人ホーム



朝夕めっきり寒くなり、いつも見られる入居者の散歩する姿もまばらとなってきた。一月十七日、この寒さを吹っ飛ばそうと、入居者で構成する親睦会が、レクリエーション大会を行いました。

内容は、大きなサイコロを使っての数字消しゲーム、動物や果物の絵合わせゲーム、カードを使ったジャンケンゲームの三種類で、目の不自由な方や歩行の困難な方など、誰もが気軽に参加できるゲームであったため、入居者全員

が参加できました。

初めて行うゲームのため、最初は緊張した表情の入居者も、要領を得てきてからは童心に帰ったような笑顔が随所に見られるようになり、ゲームを重ねることに大きな声援が飛び交い、ゲームをしている方も、見ている方も一緒に楽しんでいくことができ、盛会の内に終了しました。

普段、このような機会が少なく、この時とばかり、夢中になっていた姿が非常に印象深く、これからも入居者相互の親睦がより一層深められるような、楽しい催しを計画していきたいです。

シルバーケアセンター

当シルバーケアセンターの現在の登録者は、男二十七名、女四十五名の計七十二名で、湯沢・雄勝地区が三十五名、

横手・平鹿地区は三十名、大曲・仙北地区は七名となっております。

利用者は一日平均三十名程

お話をしたり、入浴や趣味活動をしたりと、楽しいひとときを過ごされています。

お昼はみなさん一緒に食堂で、賑やかな会食をとり、お昼寝の後には再び入浴や趣味活動を行ったり、リハビリセンターでリハビリを受けたり

顔を満載したバスがエリアを出発し、一日が終わります。

(写真は、雨のため室内で行われた、芋の子会の一コマです)

老人専用マンション



の風が吹いて私達を迎え、盛りを過ぎたコスモス畑が、心なしか寂し気なたたずまいを見せていました。

ただ、ひばり荘から見た大パノラマは見事で、その雄大でやさしい景色に私達はすっかり魅了されました。

帰りに寄った西目海岸では普段、山の景色を見慣れているせいか、久々に見る海の景色に、童心にかえったように興奮してしまいました。

山と海の景色を、心ゆくまで堪能した日帰旅行でした。



十月十日体育の日、十八名という過去最高の参加者と職員を乗せたバスは、一路、仁賀保高原へと向かいました。

以前から「体育の日は晴れ」というジンクスの通り、その日は天候に恵まれ絶好の行楽日和となりましたが、高原には「さわやかな」というより、肌寒い程

路策散

で、平均年齢が約七十五歳、最高齢者は九十三歳の女性の方です。

ここでの一日は、午前九時十分から四十分にかけて、送迎バスが到着することから始まります。

利用者は職員的笑顔の出迎えを受け、それぞれの部屋へ入り、健康チェック（血圧測定）を受け、テレビを見たり

します。

夏季であれば、

三時に食堂でお茶を飲みながら、健康体操をしたり、

「青い山脈」など

懐かしい歌を、職員

のピアノの伴奏で

歌います。

そして四時にな

ると、利用者の笑

養護老人ホーム

十月五日、利用者の何人かが「今日、子ども達は、歩いて来るんだらうか」と、雨の落ちてきそうな空を見上げて心配していました。

白山小学校との交流は、運動会・ふれあい活動・学芸会・クリスマス会と年四回あり、今回のふれあい活動は、子ども達一人一人がお部屋に入るようになっていて、利用者とはどんな子が自分の部屋に来てくれるのだからかと楽しみにしていました。

子ども達は「こんには、



〇年の〇〇〇〇です」と照れ

くさそうな声で訪ねてくれ、学校や家族の話をしたり、肩たたきや窓ふきを一生懸命に行ってくれました。なかには「オセロゲームをしよう」と

持ってきてくれた児童がおり「初めてでわからないけど、

やってみよう」という利用者に教えてくれ、にぎやかな笑い声が続いていました。

ふれあい活動は三十分と短い時間ですが、休日になると「遊びに来たよ」と元氣な顔

を見せてくれる子ども達もいて、これからもこの交流が続

き、利用者のやすらぎになっ

てくれたらと願っています。

エリア

白寿園

去る、十一月十九・二十日に白寿園倶楽室において文化祭が行われ、初日は民謡の高橋清さん御一行を迎え、日本一の唄声を披露頂き、たい

へん好評でした。

その後、初めての試みである、職員手作りのたこ焼き、わたあめ、かき氷などの屋台を行い、大盛況でした。

二日目には、職員による歌謡ショーと、職員による歌謡ショーと、職員による「レニングラード交響バレエ団」の公演がありました。

歌謡ショーでは、一人一人プロ歌手に劣ることも勝らない衣装とのどでファンの皆さんを魅了し、バレエ団の公演では、ギリシャ神話を彷彿とさせる衣装と、観衆を釘付けにする程の名演技で車イスの利用者も総立ちでした。

最後は、毎年恒例になって

いる「五福会」の華やかな舞で文化祭を締め括りました。毎年この事ながら、数週間も前から企画し、休日返上はもろろんの事、業務終了後から夜遅くまで、利用者の喜ぶ顔だけを励みに職員全員が一丸となって準備しました。

文化祭終了後、利用者から「良かったよ」「頑張ったね」と声を掛けられ、今までの苦

労も吹き飛びました。

これからの利用者が喜び、感動できる事を考えていきたいと思います。



コミュニティセンター



温水プールから

冬だって水泳

寒い冬が本番となりますが、水温は常に三十一度以上で、真夏のような暖かさです。雪を見ながら泳ぐのも、なかなかオツなものですよ！

プールがオープンしてから今月で丸五年たち、利用者も先月十三万人を越えました。一年通して行う水泳教室も年々増加し、今年もたくさんのおみなさんにご利用いただいております。

1月12日(予定) 「子どもと老人のゲートボール大会」 打ち方・ルール・得点の方法などを、わりながら、世代を

エリア太極拳同好会から

ねんりんピックで敢闘賞！

十月二十二日から香川県で行なわれた全国健康福祉祭に当エリアより、講師の佐々木昭二氏や、マンション入居者の西村由美子さんなど七名の方が、秋田県代表として参加しました。

この大会は「ねんりんピック」とも言われ、高齢者を対象として、スポーツ・文化・健康・福祉などの多彩なイベントが開催されました。

太極拳は二十三日に普通寺市民体育館で、四十五の都道府県および政令都市から約三百名の参加により開催され、エリア太極拳同好会のみならず、



んが、敢闘賞に輝きました。また高齢者賞として、平鹿町の細谷勇吉さんが、全国の六名の方とともに、特別表彰を受けました。

子どもと老人の

ふれあいセンター

今まではお知らせ板として活動の「あしあと」を紹介していましたが、「私たちも参加したかった」等の声があり、今回はこれから行う行事内容をお知らせします。

1月4日「新春書初大会」
1月8日「ちびっこ縄とび綱引き大会」が大森町民体育館にて開催され、地域住民や家族がたくさん来て応援してくれます。冬の行事としては見逃せません。

1月10日 大森町・大雄村・雄物川町の西部三ヶ町村の子ども達の交流会が、当センターを会場に開かれます。交流の中で、普段できないゲーム遊びやプール遊び、物を鑑賞したり、友達ができたりと喜びがおこる日です。

越えた心の交流ができる一日でしょう。

1月15日「新春将棋大会」が、一般と子どもものに分かれて行われ、どなたでも参加できます。

トロフィーや商品ももらい「強くなった」とほめられ、「エヘッ」と照れている笑顔が今から目に浮かびます。



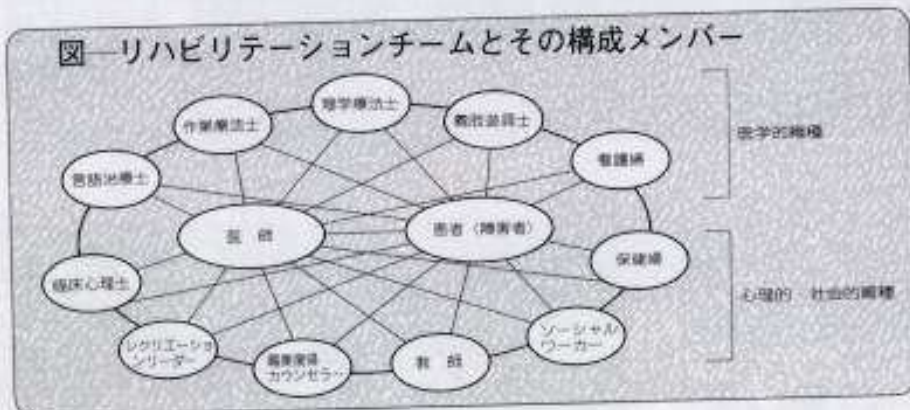
11月29日 ふれあいお楽しみ会

診療リハビリセンター

特集

“リハビリ”ってなに？

図一リハビリテーションチームとその構成メンバー



「リハビリテーション」とは、残された機能を最大限に活用して、できるだけ身体的・精神的・教育的・職業的・社会的に自立できるように援助し「生活の質の向上を目指す」ことで、すなわち「入間らしく生きる権利の回復」といえます。

また、図のように多くの専門家が、より良いチームワーク

クのもとに、同じ目標に向って専門的に仕事に取り組んでいます。

（理学療法とはなにか）

リハビリテーションの中でも特に身体に障害のある人たちに、寝返りや起きあがり、歩くといった基本的動作能力の回復や維持と悪化予防のために、運動療法（筋力増強、関節可動域の維持・改善等）、日常生活動作訓練（寝返りなど）、物理療法（湯で温めたり、電気をかけたりする）などの方法を用いる治療法のことです。

理学療法は、3年制専修学校、医療技術短期大学や大学



で、解剖学・生理学・臨床神経学・運動学などを基礎に、理学療法を専門的に学び、国家試験に合格した理学療法士が行っています。

エリアでの理学療法

（利用者はどうな人たちか）
大部分が高齢者の方です。

（どんな疾患の人たちか）
変形性関節症、骨粗鬆症、慢性期脳卒中後遺症、パーキンソン病などの人たちが、ほとんどを占めます。

（治療の目的と内容は何か）
病院などではけがや病気で「寝たきりの状態」から「歩く」ようになるなどどんなに変化する人が一般的であるのに対し、エリアでは日常生活が自立し、体の状態がほとんど変化のない人、あるいは何もしないと機能が低下している人が大半です。

そうすると、おのずとエリアでは、現在の機能の維持や悪化予防が主体となります。

（個人の状態に応じた治療をしているだけなのか）
それ以外にも、次のような

ことを行っています。

1 「リハビリ健康教室」
自分の健康に関心を持ち、コントロールして自己管理できるような援助をしています。

私たちが病気になるっても、使い方によっては結構不自由なく暮らせます。

つまり、健康教室では、どのように体を使えば、痛みも少なく不自由なく生活できるかわかってもらえるよう、実際の場面を設定し、具体的に指導しています。

2 「グループ訓練（体操・レクリエーションなど）」
利用者が生き生きとした生活をすごせるよう、楽しみながら体を動かし、心肺機能などの維持と仲間づくりを図っています。

3 「プールでの水中訓練」
プールでの歩行、温水を使つての筋力増強などを指導しています。

4 「リハビリ学級への参加」
地域への協力としての要請があれば、参加しています。

（次回、作業療法につづく）



出会い・ふれあい・語らいの街

南部シルバーエリア

施設使用料

一日中楽しめる!

区分	利用の単位	利用料		
		夏期 (5月~10月)	冬期 (11月~4月)	
宿泊	小学生	一人一泊につき	2,060円	2,260円
	一般	(兼泊まり)	2,700円	2,900円
休憩	小学生	一人につき	260円	460円
	一般		530円	730円
休憩回数券 (六枚券)	小学生		1,290円	※1枚使用毎に 200円加算
	一般		2,700円	
会議室	1時間につき	1,100円	1,300円	
研修室	1時間につき	1,100円	1,300円	
視聴覚室	1時間につき	1,100円	1,300円	
屋内ゲートボールコート	1時間につき		400円	
テニスコート	1時間につき		400円	
屋内プール	一般	1回につき		500円
	高校生	(1回目 10:00~13:00)		400円
	3歳児から 中学生まで	(2回目 13:30~16:30)		200円
屋内プール 回数券 (6枚券)	一般			2,500円
	高校生			2,000円
	3歳児から 中学生まで			1,000円

※宿泊、休憩等の冬期使用料には暖房費が含まれています。
また、プール利用時間(2回目)は5月から10月までは13:30~17:00です。

ご利用の方法

コミュニティセンター・スポーツ施設
開館時間 9:00~17:00

休館日

毎週月曜日と12月29日~1月3日まで
国慶リハビリセンターと自宅老人介護センターは
毎週日曜日、および祝日と12月29日~1月3日まで

ご利用申し込み

秋田県南部老人福祉総合エリア

コミュニティセンター

電話 0182-721-3880

FAX 0182-721-3880

交通のご案内(略図)



車... 大曲、湯沢、湯沢駅から
約30分です。
バス... 羽後交通の
バスがエリア
前から発着
します。

チャレンジ・ザ・冬休み!

当エリアでは、学校の長期休業期間中に、子どもたちの創作意欲を高めるとともに、人々の交流の場としての様々な「チャレンジ」教室を開催しています。
今回の冬休みは、陶芸・料理・木工・クラフト・工芸の五教室があり、季節に合わせたクリスマスキャンドル作りなど、楽しみが一杯です。

福祉入門セミナー

今年度から開始された「福祉入門セミナー」には、たくさんの方々が参加しています。
このセミナーは、福祉や介護に興味をもっている、いろいろな世代や職場を対象に開催してきました。

しかし、これからの社会では「福祉」を避けて通ることはできません。興味がない人でも一度はどんなものか体験し、「福祉」を感じてみてください。
問い合わせは、当エリア診療リハビリセンターの「なんでも相談室」まで。

平成6年12月15日発行
〒020-0155 秋田県南陽市大森町字菅生田二四五三三四
秋田県南部老人福祉総合エリア Ⅱ〇一八二二五の二八八〇〇

大きめに

南部シルバーエリアまで